

ITスキル標準をベースとした人事制度の構築 (第7回 ITSS-DS 受診のアンケートご紹介(続き))

前回に引き続き、ソフト会社のパワーハウスにおける ITSS-DS 受診後のアンケート結果についてレポートします。今回は、問1「ITSS-DSの結果は、あなたの考えるレベルと一致していますか」、問2「レベルが一致しない場合、その原因は何だと考えますか」についての答えについて分析しました。

今回は、問3「あなたのレベルを上げるために、どのようなことに取り組めますか」と、問4「ITSS-DSを受診して気がついたこと」についての回答結果の分析です。

問3の「レベルを上げる取り組み」について、21人の方から回答がありました。レベルアップのための方策は、下記のような結果になりました。一人で複数回答された方もおりますので、回答の合計は21人よりも多くなっています。

- ・自己学習:10人
- ・経験を積む:9人
- ・資格取得:5人
- ・研修の受講:4人

資格取得が多いかと思いましたが、皆さんいろいろな方法で自己のレベルアップに取り組む方法を考えているようです。意欲的に考えているので、これをどう実行してもらうかが大切となります。

次に、それぞれについて具体的にどう取り組もうとしているのか、個々の回答内容をご紹介します。

1)「自己学習」に関して

- ・自宅で勉強をしている。常駐先での経験をもとに今後の課題へ取り組む
- ・視野を広げ、新しい分野のスキルを身につけるため、書籍などで自己学習する
- ・必要なスキルについては独自での学習をすすめ、資格の取得など目に見える形へ変えていこうと思います
- ・リーダー・指導力といった分野の強化が必須と思います。他者・同僚・後輩等々との会話、仲間の仕事への巻き込み方等を勉強する必要があるような気がします。

勉強の方法としては、(1)ネット環境から参考になるHPを熟読する、(2)上記で得た知識を試す、(3)試した結果の反省と改良、が当面の自己成長計画と考えます

- ・マネジメントスキル、知識を増やす

学習意欲のあることが自己成長の基本です。意欲を大切に作る組織風土にしたいですね。

2)「経験を積む」に関して

- ・計画的に体験を積んでいくこと。OJT表の記入
- ・今の仕事の経験値を増やすなかで、技術を高めたいと思います
- ・設計フェーズを行えるチャンスを作り出すこと(より多くの経験を積むこと)。他分野の言語の習得
- ・プロジェクト内で、率先しての自己プロジェクト管理。これをきっちり行うことで、プロジェクト自体の管理強化につなげていく
- ・広い範囲の中から、現場で必要とされることを優先的に身につけていきたい
- ・新しい技術を試してみたり、よりよい設計等や手法を学ぼうと思ってます
- ・様々な業務を経験し、経験を増やしていく

回答結果を見ると、新しい経験を積ませることを、会社として計画的に行う必要がありそうです。

3)「資格取得」に関して

- ・余裕があるときに資格をとることを考える。今はほとんどプログラムしか行っていないので、設計書の書き方な

どを勉強しておきたい。

・資格取得はもちろんだとは思いますが、逆にそれ以外に効果的なことがあるなら知りたいと思う

4)「研修受講」に関して

・達成度指標のミドルレベル域は個人の取り組みでも可能だが、ハイレベル域での責任性(立場)やサイズ(規模)の向上は、個人では無理かと思う

・現状の実務では経験できないと思われる、スキル内容の受診項目もありました。その対象スキルのある経験者や専門の方(自社の先輩など)にアドバイスや教育を受けて、自らのスキルアップを図る必要があると思いました。専門の教本を使っただけの独学や、自社公認の有料の教育を受けるなどの自己啓発にも取り組みたいと思います

・講習会などに出て個人のレベルを上げる

・社内研修の受講、独学、資格の取得

個人の取り組みだけでは限界がある、ということと思います。

質問4の「ITSS-DSを受診して気づいた点」については、信頼性についての疑問が9人(43%)の方から出ています。その他、自分の気づきになったという方も、4人おります。

1)「信頼性への疑問」に関して

・全部が自分に該当する質問内容ではなく、該当しない項目にも回答しなければならない。それをもとにレベルを判定されるので、その結果をすべて鵜呑みにするのは難しいと思います

・設問が幅広くとれるものがあり、回答に悩むことがあった

・最初から最後まで自己申告なので客観性が気になります

・設問に対し、「自分はまさにそれを実践している」というレベルなのか、「まだ不十分ではあるが、そのような意識を持って実践しようと努力している」というレベルなのかなど、どのようなスタンスで答えるかによって、スキルレベルの変動があるように思う

・自己判断の基準が難しい

・プロジェクトマネジメントを選択したわけではないのに、相当量の設問が存在した

・参考程度にはよいが、これだけでレベルを決めるのはいかがかと思う。仮に他メンバーの結果を見ても、その人の能力が全て判断できるとは思えない

21人中、9人の方が信頼性に疑問をもっています。前回見たように、レベルについては80%の人がほぼ一致と答えているのに、信頼性に疑問が多いのは、そのまま鵜呑みにして評価に取り入れることへの反対と考えられます。

2)「自分の気づきになった」という意見について

・まだまだ自分自身のレベルが低い

・ITSSの結果から、自身で思い当たる強みや弱みが一致した個所が多かった印象があります。また、ITSSの結果に対する信頼度が高かった事が嬉しいような、悲しいような

・意識付けという点ではいいと思う。